

資料館だより 第1号

発行・編集 若狭国吉城歴史資料館

〒919-1132 福井県三方郡美浜町佐柿25 - 2

TEL 0770 - 32 - 0050

FAX 0770 - 32 - 0057

ごあいさつ

平成21年4月27日に「若狭国吉城歴史資料館」が開館され、はや1年半の月日が経ちました。開館当初は、どれくらいの来館者があるのか心配しておりましたが、今年3月末までに3,952人、今年度に入って約2,000人と、大変多くの皆様にご来館いただくことができました。

このような結果、当資料館は国吉城に関わる歴史資料や調査の成果を余すところなくご覧いただくことができる施設で、歴史教育や体験学習、研修会、そして町の観光施設としても役立てていることに安堵しており、昨今では歴史ブームの影響を受け、町外からも大変多くの皆様にご来館いただいているほか、町民の有志が実施している「はあとふる体験事業」においても、国吉城址の現地見学や発掘体験、資料館の見学など多数ご活用いただいていることに、驚きと共に喜びを感じているところでございます。

また、来年のNHK大河ドラマにおいては、福井県所縁の浅井三姉妹が主人公となる「江(ごう) 姫たちの戦国」が放映されることとなっており、益々多くの来館者が期待されます。

当資料館においては、これからも新たな企画展示やイベント等を充実し、情報発信してまいりたいと考えております。今後ともご利用・ご活用いただきますようお願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

若狭国吉城歴史資料館 館長 窪 安和



佐柿町奉行所跡に建つ若狭国吉城歴史館

たくさんの皆さんが見学に見えています。

『若狭町ウォークラリー』



* 若狭町からスタートした一行93名は館を見学後、駐車場で昼食を！

『みはまっ子塾』



町内の小学生とその親が参加24名。はじめに資料館内学習室で、学芸員より国吉城についての話を聞きました。その後、発掘体験に外へ！

子供たちは学芸員や作業員のおじさん達に教えてもらいながら、楽しそうです。暑い中、休憩も忘れるほど熱中して掘り続けるみんな！お母さん達も負けてません。帰りには、「また、今度したいです...。」と、興味をもって貰えたようです。

今年度の主な団体のお客様

- | | | | |
|-----|-----|--|---|
| 4月 | 23日 | 嶺南社会教育主事研修会 |  |
| 5月 | 16日 | 鯖江市郷土史懇談会 | |
| | 25日 | 美浜町金山老人クラブ | |
| | 30日 | はあとふる体験 広島市立江波中学校 | |
| | 31日 | ” | |
| 6月 | 2日 | はあとふる体験 名古屋市立日比野中学校 | |
| | 12日 | ハートフルウォーク | |
| | 20日 | 出城壮年会(石川県) | |
| 7月 | 1日 | 美浜中1年生 奉仕作業 | |
| | 4日 | 敦賀市短歌サークル | |
| | 7日 | 敦賀市泉ヶ丘老人会 | |
| | 27日 | 吉右エ門さん家 | |
| 8月 | 18日 | みはまっ子塾 |  |
| | 19日 | 若狭町ウォークラリー | |
| | 20日 | 関西電力家族会 | |
| 9月 | 7日 | 美浜町観光協会女性部 | |
| | 14日 | 若狭湾刊行連盟の取材、モデル撮影 | |
| | 25日 | 国吉城まつり(佐柿区) | |
| 10月 | 22日 | 徳島県シルバー大学OB会 | |
| | 23日 | COP10福井視察メンバー | |
| | 24日 | 第4回古里をのろしてつなごう&フットパスin国吉城 | |
| | 30日 | 朝倉氏遺跡を愛する会
美浜町民文化祭(無料公開 ~31日)
ミニ企画展『佐田田辺半太夫家に伝わる武具展』 | |

2010年10月31日現在
来館者数合計は

6,035名



『はあとふる体験』



『美浜ライオンズクラブ』
により整備された資料館の庭園(シカ対策ネット)

NHK大河ドラマ『江 - 姫たちの戦国 -』
PR用のぼり(福井県推進協議会)



『のろし&フットパス』



(学芸員の作業室)

国吉城址史跡第11次調査の状況 美浜町では、国吉城址とその周辺遺跡群を含む、佐柿区の歴史的景観の保存整備を図り、史跡公園として活用するため、平成12年度より確認調査を実施しています。今年度は、山城部本丸跡北西堀切付近の遺構確認調査と、青蓮寺谷補足調査を予定しており、前半は、本丸跡付近の調査を行ないました。

本丸北西下の堀切は、土砂で埋もれてわずかな窪みがあるだけでした。この堀切を断ち割るよう試掘トレンチを設定して調査したところ、堀切の両斜面から上部が崩落した石垣が検出されました。出土した石垣は、人頭大の石材が用いられ、裏込石などの状況も、城主居館跡の二・三段目で検出した石垣と同一の特徴がみられます。また、検出した両斜面の石垣間による堀切の幅は、約4mを測ります。堀底部は、石垣の崩落石や土砂が厚く堆積していましたが、箱堀状の底部から北側へ落ち込んでゆく地形と、橋脚の礎石とみられる平石を、東西石垣際でそれぞれ1基ずつ検出しました。連郭曲輪群 郭側には、橋へのアプローチとなるとみられる南北方向の石列(石段?)を検出しました。なお、同側地面は、地山の岩盤が露出しており、堀切掘削の際も、岩盤を大きく切り開いて分断したものとみられます。遺物は、土師器片のほか、播鉢片などの陶器類のほか、投棄された石仏や墓石(五輪塔残石)が出土しました。

12月末まで調査してますから、ぜひ見学に来て下さい！



北西堀切完掘状況(郭側より)



北西堀切完掘状況(本丸帯曲輪側より)

11月・12月 ご案内(予定)

開催中！ ミニ企画展『佐田田辺半太夫家に伝わる武具展』(～11月28日まで)

11月20・21日 関西文化の日(無料開館)

12月下旬 現場説明会

(つぶやき)

今年の夏は記録的な暑さでしたが、そんな中城山登山をされて、満足顔で館を見学されていたお客様達が皆口を揃えておっしゃる「以前よりもすばらしく整備されていてよかったです。」と！また「館内はきれいで落ち着きますね。」とお褒めの言葉。

さて、秋本番、山歩きにもよい季節となりました。戦国ロマンの山城へ、いざ出陣！！(恵)

(今年は写真のように、事務室西側の窓に朝顔で、グリーンカーテンにしてみました。夏には大輪の花が色とりどり咲いてきれいでした。秋風がふき、今はたくさんさんの種が出来ました。)

